

令和 6 年 4 月 12 日

橋本保健所長
松本 政信 様

医療法人南労会
理事長 佐藤 雅司

平素より格別のご高配を賜り誠にありがとうございます。

医療法人南労会が運営する紀和病院では、地域医療の質向上と医療資源の効率的な活用を目指しております。此度、地域医療構想を踏まえ、病床の再編成計画を考えています。この計画は、より良い医療サービスの提供と、地域医療のさらなる充実に寄与するものです。以下、再編成計画の概要を説明いたします。本計画の趣旨をご理解いただき、引き続きのご支援を賜りますよう心よりお願い申し上げます。

1. 現 状

橋本医療圏域においては、回復期病床の不足が課題となっており、適切な回復期支援が必要です。一方で、慢性期病床については、数値上では過剰であるように見えますが、実際には長期にわたる療養が必要な患者を受け入れるための機能が不足しています。

2. 再編成計画について（目的）

当院は、令和 3 年頃から緩和ケア病棟の病床数の調整を行ってまいりましたが、稼働率が 50%に満たない状態が続いております。このような背景のもと、令和 6 年度の診療報酬改定により地域包括医療病棟が新設されることに伴い、当院では以下の再編成を計画しております。

（ア）現存する地域包括ケア病棟を地域包括医療病棟へと移行させる。

（イ）緩和ケア病棟（20 床）を地域包括ケア病棟（20 床）へ転換する。

この転換により、橋本医療圏域における慢性期病床は 20 床減少し、代わりに回復期病床が 20 床増加することになります。現行の緩和ケア病棟は主に終末期がん患者の疼痛緩和を目的としており、長期にわたる療養が必要な慢性期患者のケアには該当しません。この点において、稼働率が低い慢性期病床を地域で不足している回復期病床に転換することは、地域の医療ニーズにより適切に応えることが可能と考えます。また、終末期がん患者につきましては、これまでと同じ病棟の一部を利用し、環境面での変更はなく入院いただけるよう努めます。

3. 実施時期

令和 6 年 6 月 1 日（地域の医療関係者と十分な協議を経て、スムーズな転換を目指します。）

4. 参 考

	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	分類なし	合計
地域医療構想	65	267	327	78	0	737
橋本保健医療圏 (2023 年 7 月 1 日)	12	466	212	149	2	841
必要病床数の差	▲53	199	▲115	71	2	104

紀和病院 (2024 年 3 月 22 日)	0	60	109	130	0	299
紀和病院【案】	0	60	129	110	0	299
差	0	0	20	▲20	0	0

以上